

## 令和 7 年度基金事業 事業別評価シート

令和 7 年度基金事業の概要	1
令和 7 年度基金事業の構成	2
① みえ森と緑の県民税基金積立金事業	3
② 災害に強い森林づくり推進事業	
ア. 災害緩衝林整備事業	4
イ. 土砂・流木緊急除去事業	5
③ 災害に強い森林再生事業	6
④ 森林情報基盤整備事業	7
⑤ 森を育む人づくりサポート体制整備事業	
ア. みえ森林教育ビジョン推進事業	8
イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	9
ウ. みえ森林教育ステーション運営・整備事業	10
⑥ みんなで取り組む三重の森づくり推進事業	11
⑦ 生物多様性推進事業	12
⑧ 森林とふれあう自然公園環境整備事業	13
⑨ みえ森と緑の県民税市町交付金事業	
ア. 市町交付金（連携枠）事業	
a. 流域防災機能強化対策事業	14
b. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	15
c. 県民参加の植樹祭事業	16
イ. 市町交付金（基本枠）事業	17
⑩ みえ森と緑の県民税制度運営事業	18



# 令和7年度 みえ森と緑の県民税基金事業の概要

当初予算総額  
1,116,169千円

みえ森と緑の県民税を活用し、2つの基本方針に沿った取組を進めます。

## 基本方針1 災害に強い森林づくり

### ◇災害に強い森林づくり推進事業（368,019千円）

流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出、周辺の森林整備などに取組みます。



実施前



実施後

### ◇森林情報基盤整備事業（100,000千円）

航空レーザー測量とデータ解析により、整備が必要な森林を明らかにします。

### ◇災害に強い森林再生事業（45,000千円）

シカの食害・気象害等を受けた森林について、早期に回復するための植栽や下刈り、造林地における獣害防止施設の整備を支援します。

## 県実施

## 基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり

### ◇森を育む人づくりサポート体制整備事業（60,615千円）

森林教育ワークショップの発行や各種講座を開催するほか、「みえ森づくりサポートセンター」の運営、森林教育施設の整備などに取り組めます。

### ◇みんなで取り組む三重の森づくり推進事業（10,163千円）

森林フェスタの開催などを通じて県民の皆さんが森を育む意識の醸成を図るほか、企業による森づくり活動を促進します。

### ◇生物多様性推進事業（3,794千円）

外来生物の調査、自然環境保全活動の支援、自然観察会の開催などに取り組めます。

### ◇森林とふれあう自然公園環境整備事業（30,400千円）

自然公園施設等を活用した森林教育のほか、施設の保全活動に取り組めます。

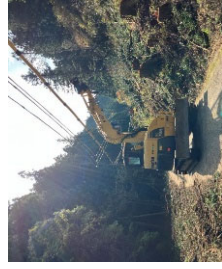
## ◆みえ森と緑の県民税市町交付金事業（483,658千円）

### ◆みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠)事業

地域の実情に応じて「対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり」「対策区分2：暮らしに身近な森林づくり」の施策を展開します。

### ◆みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)事業

溪流沿い等の森林を整備し、防災機能の強化を図るほか、倒木により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木を事前に伐採します。



### ◆みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠)事業

地域の実情に応じて「対策区分3：森を育む人づくり」「対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり」「対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり」の施策を展開します。



### ◆みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)事業

県民参加の植樹祭を開催します。

## 市町実施

## 制度運営

### ◇みえ森と緑の県民税制度運営事業（14,520千円）

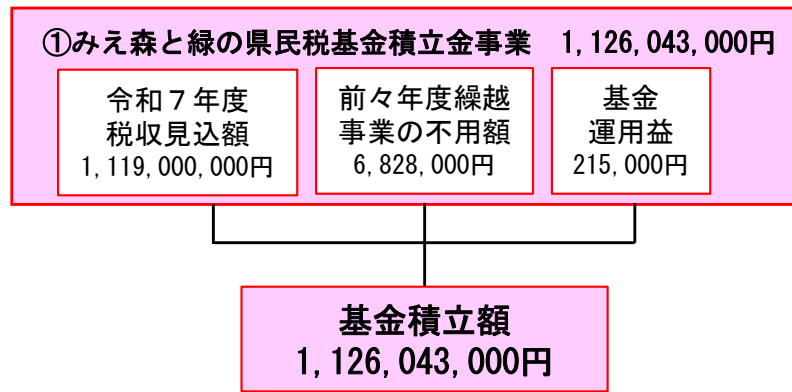
みえ森と緑の県民税を活用した事業について評価検証を行う附属機関「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営します。また、事業の成果を広く周知するため、成果報告書の作成や成果発表会の開催に取り組むほか、さまざまな媒体を活用した普及啓発を進めます。

注1) ◇は県実施、◆は市町実施を表しています。

注2) 予算額は、事業費のうち、みえ森と緑の県民税を充てる額を示しています。

# 令和7年度基金事業の構成

## 【基金積立】



基金取崩額  
1,116,169,000円

## 【基金取崩】

### 県営事業 617,991,000円

②災害に強い森林づくり推進事業  
368,019,000円

ア 災害緩衝林整備事業 352,279,000円

イ 土砂・流木緊急除去事業 15,740,000円

③災害に強い森林再生事業 45,000,000円

森林防災機能回復支援事業 7,830,000円

森林再生力強化対策事業 37,170,000円

④森林情報基盤整備事業 100,000,000円

⑤森を育む人づくりサポート体制整備事業  
60,615,000円

ア みえ森林教育ビジョン推進事業  
22,047,000円

イ みえ森づくりサポートセンター運営事業  
28,613,000円

ウ みえ森林教育ステーション運営・整備事業  
9,955,000円

⑥みんなで取り組む三重の森づくり推進  
事業 10,163,000円

⑦生物多様性推進事業 3,794,000円

⑧森林とふれあう自然公園環境整備事業  
30,400,000円

### ⑨市町交付金事業 483,658,000円

ア 市町交付金（連携枠）事業  
151,160,000円

a 流域防災機能強化対策事業  
78,155,000円

b 災害からライフラインを守る事前伐採事  
業 72,505,000円

c 県民参加の植樹祭事業 500,000円

イ 市町交付金（基本枠）事業  
332,498,000円

令和7年度に活用する事業費  
327,648,000円

基金積立（事前度以降活用）  
4,850,000円

基金活用額 7,485,000円

### ⑩制度運営事業（県営） 14,520,000円

みえ森と緑の県民税  
制度運営事業  
14,520,000円

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート①

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成25年度
事業名		みえ森と緑の県民税基金積立金事業				
細事業名		—				
基本方針区分		—				
対策区分		—				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	1,117,512,000	1,126,043,000			
	決算額（円）	1,346,799,138				
事業の目的		荒廃森林の増加と自然災害の頻発が懸念される状況をふまえ、県民の生命・財産を守るため、土砂や流木の発生を抑制する「災害に強い森林づくり」に重点的に取り組みます。 また、森林の恩恵はすべての県民が受けていることから、災害に強い森林づくりを将来にわたって引き継いでいくため、森林を県民全体で支える社会づくりを推進します。				
事業の目標		—				
事業概要		森林の恩恵は全ての県民が受けており、費用については県民の皆さんに幅広く負担していただくという趣旨から「県民税均等割の超過課課税方式」により、現行の県民税均等割に上乗せして課税しています。 みえ森と緑の県民税の税収に相当する額は「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てることで、既存財源と区分し、用途を明確化しています。				

【中間進捗】

中間進捗状況
積み立てた基金を財源に、県と市町が役割分担したうえで各事業を実施し、みえ森と緑の県民税の基本方針である「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート②ーア

担当部課名	農林水産部治山林道課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		災害に強い森林づくり推進事業				
細事業名		災害緩衝林整備事業				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	348,796,000	352,279,000			
	決算額（円）	334,428,123				
事業の目的		台風や集中豪雨による山崩れ等に伴って流出する流木や土砂に対して緩衝効果を発揮する森林づくりを推進し、流木や土砂による人家などへの被害を軽減します。				
事業の目標		実施箇所数： 25箇所				
事業概要		<p>流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林において、流木や土砂の流出に対して緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。</p> <p>1. 事業実施</p> <p>(1) 溪流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採</p> <p>(2) 溪流沿いの立木における調整伐</p> <p>(3) 伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出</p> <p>2. 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究）</p>				

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>1. 事業箇所について、令和7年12月末現在、今年度の実施箇所である26箇所のうち3箇所が完成しました。残り23箇所も完成に向けて進めていきます。</p> <p>2. 事業の効果検証について、土砂止めの設置による土砂流亡抑制効果、調整伐による立木の成長促進効果、危険木除去による流木発生抑制効果を検証するため、調査を継続して実施しています。</p> <p>3. 事業のPRについて、事業の取組内容をより多くの県民の皆様にご覧いただき、事業の必要性への理解を深めるため、県庁舎のホール等において、現場状況等の展示をするとともに、施工現場においてものぼり旗等によるPRを実施しています。また、事業実施地周辺の住民の皆様にご覧いただくため、回覧等によるPRを実施しています。</p>

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）		* 実績報告後に記入	
事業量	実施箇所数（箇所）	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート②ーイ

担当部課名	農林水産部治山林道課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		災害に強い森林づくり推進事業				
細事業名		土砂・流木緊急除去事業				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	0	15,740,000			
	決算額(円)	0				
事業の目的		荒廃した渓流内に異常に堆積した土砂や流木が、豪雨等により流出し、下流の人家等に被害を与える恐れのない安心・安全な森林づくりを推進することで、県民の生命・財産を守ります。				
事業の目標		実施箇所数：1箇所				
事業概要		渓流内に異常に堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1) 渓流内に異常に堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2) 必要に応じて流木止めなどの簡易施設の設置				

【中間進捗】

中間進捗状況	
1. 1箇所の事業箇所について、完成に向けて進めていきます。 2. 事業のPRについて、事業の取組内容をより多くの県民の皆様に知っていただき、事業の必要性への理解を深めるため、県庁舎のホール等において、現場状況等の展示をするとともに、施工現場においてものぼり旗等によるPRを実施しています。	

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費(千円)		*実績報告後に記入	
事業量	実施箇所数(箇所)	*実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	*実績報告後に記入	
効 率 性	*実績報告後に記入	
公 益 性	*実績報告後に記入	
情報発信度	*実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート③

担当部課名	農林水産部森林・林業経営課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和6年度
事業名		災害に強い森林再生事業				
細事業名		—				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	45,000,000	53,634,000			
	決算額(円)	45,000,000				
事業の目的		シカの食害や気象害等による被害森林が増加すると、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能の低下が懸念されることから、被害森林等の成林に向けた取組を支援するとともに、新植地においてはシカ等の鳥獣害対策を支援して確実に成林させることにより、公益的機能を早期かつ確実に発揮させ災害に強い森林づくりを目指します。				
事業の目標		(1) 森林防災機能回復支援事業 シカの食害や気象害等による被害森林の植栽 3ha (獣害防護柵の設置を含む) (2) 森林再生力強化対策事業 獣害防護柵の設置 4,000m				
事業概要		(1) 森林防災機能回復支援事業 7,830千円(当初) → 8,634千円(12月補正) 早期に森林へ回復させるために必要な人工造林、下刈り、鳥獣害防止施設等の整備 (2) 森林再生力強化対策事業 37,170千円(当初) → 45,000千円(12月補正) 野生鳥獣の移動制御等を図るために実施する鳥獣害防止施設等の整備、補修				

【中間進捗】

中間進捗状況		
1. 森林防災機能回復事業	植栽面積	4.00ha(予定) ※2町実施中
2. 森林再生力強化対策事業	獣害防護柵の設置	18,500m(予定) ※5市町実施中
	防護チューブの設置	43,500本(予定) ※3市実施中

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費(千円)		* 実績報告後に記入	
事業量	被害森林の植栽	* 実績報告後に記入	
	獣害防護柵の設置	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実績報告後に記入	
効率性	* 実績報告後に記入	
公益性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入



令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート④

担当部課名	農林水産部森林・林業経営課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		森林情報基盤整備事業				
細事業名		—				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	100,000,000	100,000,000			
	決算額(円)	98,911,500				
事業の目的		航空レーザ測量成果の解析により得られる森林資源情報を用いて、効率的な森林管理を促進するとともに、災害発生危険性の高い地域等を客観的に把握し、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。また、得られた森林資源情報を市町と共有することで、市町による森林の適正な管理を促進します。				
事業の目標		航空レーザ測量解析実施面積(累計) : 3,400km <sup>2</sup> (34万ha) (令和8年度まで)				
事業概要		航空レーザ測量の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。また、県ホームページ等を活用して情報発信を行います。 ・航空レーザ計測(レーザ照射点密度4点/m <sup>2</sup> ) 3400km <sup>2</sup> (34万ha) (三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成) ・森林資源解析 3400km <sup>2</sup> (34万ha) (林相区分データ作成、単木解析、林分解析(平均胸高直径、平均樹高、平均形状比、立木本数密度、収量比数等) データ作成) ・成果品: 森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成				

【中間進捗】

中間進捗状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空レーザ測量 約270km<sup>2</sup> (鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、大台町、玉城町、大紀町、伊賀市)</li> <li>・森林資源解析 約270km<sup>2</sup> (亀山市、津市、松阪市、多気町、大台町、伊勢市、玉城町、大紀町)                ※うち約110km<sup>2</sup> (亀山市、津市、多気町、大台町、伊勢市、玉城町、大紀町)は、国土交通省による航空レーザ測量実施区域</li> <li>・傾斜区分図の作成 約 60km<sup>2</sup> (南伊勢町)</li> <li>・森林資源解析データの活用方法に関する講義の開催 2回 (市町職員向け・林業事業体職員向け)                ※みえ森林・林業アカデミーにおいて開催</li> </ul>	

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)	* 実績報告後に記入	
事業量	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実績報告後に記入	
効率性	* 実績報告後に記入	
公益性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑤ーア

担当部課名	林業研究所普及・森林教育課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		森を育む人づくりサポート体制整備事業				
細事業名		みえ森林教育ビジョン推進事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		3. 森を育む人づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	19,575,000	22,047,000			
	決算額(円)	16,473,480				
事業の目的		「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。				
事業の目標		学校学習の中で副読本又はみえ森林ワークブック等を活用した小学校数：139校（令和7年度末） ＜三重の森林づくり基本計画2025における目標値＞ 森林教育に取り組む小学校数：230校（令和16年度）				
事業概要		みえ森林教育ビジョンを実現するため、森林教育の裾野を広げ、子どもから大人まで一貫した教育体制を構築し、主体的・対話的で深い学びの充実を図るためのイベントや講座の開催、みえ森林ワークブックの作成などの森林教育プログラムを展開します。 【具体的な事業内容】 （1）森林教育イベント「みえ森林教育シンポジウム」「みえの森フォトコンテスト」の開催 （2）森林教育プログラムの実践（講座の開催、アドバイザー派遣、副読本・ワークブック等の配布）				

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>1. 「第4回みえ森林教育シンポジウム」(R8.1.31)の開催に向けて準備を進めています。</p> <p>2. 「第12回みえの森フォトコンテスト」(R7.6.20～10.31)、「こども森の写真教室」(R7.8.2)を開催しました。</p> <p>3. 年代や立場に応じた森林教育講座（子ども向け1回、企業向け2回）を開催しました。</p> <p>4. 森林を活用した保育に関心のある保育園（1市、2園）に「みえ森林教育アドバイザー」を派遣しています。</p> <p>5. 小学生向け冊子として、副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」「みえ森林ワークブック」を配布しました。</p>

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)	*実績報告後に記入	
事業量(実施回数・日数)	*実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	*実績報告後に記入	
効 率 性	*実績報告後に記入	
公 益 性	*実績報告後に記入	
情報発信度	*実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑤ーイ

担当部課名	林業研究所普及・森林教育課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		森を育む人づくりサポート体制整備事業				
細事業名		みえ森づくりサポートセンター運営事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		3. 森を育む人づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	29,795,000	28,613,000			
	決算額(円)	28,277,810				
事業の目的		森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。				
事業の目標		地域に密着した森林教育指導者数 240人(令和7年度末) 300人(令和10年度末)				
事業概要		<p>学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートを行います。</p> <p>【具体的な事業内容】</p> <p>(1) 森林教育への理解を深める講座の開催</p> <p>(2) 森林教育指導者等への育成(「森のせんせい」登録、森の学校、物品貸出)</p> <p>(3) 学校等における森林教育活動の支援(出前事業、コーディネート、木材に親しむ場づくり)</p> <p>(4) 森づくり活動の支援(コーディネート、技術支援、「森づくり活動団体」の登録)</p> <p>(5) 森林教育・森づくりに関する情報発信(季刊誌の発行、ホームページ、SNS等を活用した情報発信)</p>				

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>1. 森林教育への理解を深める講座を7回(みえ森林教育講座3回・森のせんせい養成講座3回・学校教職員森林環境教育研修1回)開催しました。</p> <p>2. 森林教育指導者の育成に向けて、「森のせんせい」の登録や活動支援を行うとともに、「森のせんせい」が森林教育を実践し、経験を積む場として行う「森の学校」を16回開催しました。</p> <p>3. 学校における森林教育活動を支援するため、要望に応じて指導者の紹介やプログラム提案を行うとともに、出前授業を8回開催しました。</p> <p>4. イベントに県産木材を活用した遊具を持ち込みふれていただく「ミエトイ・キャラバン」を7回開催しました。</p> <p>5. 地域での森づくり活動を活性化するため、安全・安心な活動に向けた講習会を3回開催しました。</p> <p>6. ホームページやフェイスブック、Instagramを活用し、森林教育や森づくり活動に関する情報を発信しています。</p>

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)	*実績報告後に記入	
事業量(実施回数)	*実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実績報告後に記入	
効率性	*実績報告後に記入	
公益性	*実績報告後に記入	
情報発信度	*実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	*実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑤ーウ

担当部課名	林業研究所普及・森林教育課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		森を育む人づくりサポート体制整備事業				
細事業名		みえ森林教育ステーション運営・整備事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		4. 森と人をつなぐ学びの場づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	10,588,000	9,955,000			
	決算額(円)	8,785,193				
事業の目的		県民の皆さんがいつでも利用できる森林教育の活動フィールドや木製遊具などが常設された施設等を運営・整備し、森林・林業、木材利用への理解を深め、意識の醸成を図ることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。				
事業の目標		三重県民の森「みえ森林教育ステーション」の利用者数 11,000人				
事業概要		<p>県民の皆さんがいつでも安心して利用できる常設の森林教育施設の運営や認定、整備を進めるとともに、これらの施設を活用した森林教育活動を展開します。</p> <p>【具体的な事業内容】</p> <p>(1) 三重県民の森「みえ森林教育ステーション」の運営</p> <p>(2) 森林教育ステーションの認定と活用支援</p> <p>(3) 三重県林業研究所における「みえ森林教育ステーション」の整備</p>				

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>1. 三重県民の森みえ森林教育ステーションを運営し、これまでに8,363名の方にご利用いただいたほか、9回の森林教育イベントを開催しました。</p> <p>2. これまでに1施設(累計41施設)をみえ森林教育ステーションに認定し、現在4施設が認定手続きを進めています。</p> <p>3. 三重県林業研究所において、樹木について学ぶことができるフィールドの整備を進めています。</p>

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)	* 実績報告後に記入	
三重県民の森「みえ森林教育ステーション」利用者数(人)	* 実績報告後に記入	
みえ森林教育ステーション認定施設数(施設)	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑥

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和6年度
事業名		みんなで取り組む三重の森づくり推進事業				
細事業名		みんなで取り組む三重の森づくり推進事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		4. 森と人をつなぐ学びの場づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	11,000,000	10,163,000			
	決算額(円)	9,508,847				
事業の目的		児童・生徒を対象とした「みえの森づくりポスターコンクール」のほか、県民が森林を身近なものとして感じ、学べる場として「森林フェスタ」を開催するなど、県民が森を育む意識の醸成を図ります。また、県民、企業による森づくり活動の機会や場の提供を通じて、県民による森づくり活動の促進を図ります。あわせて、企業・NP0・関係団体・行政などで構成する「三重の森づくりネットワーク」会員の活動及び交流を通じて「三重の森づくり運動」を展開し、全国植樹祭の令和13年招致に向けた気運を醸成します。				
事業の目標		森林フェスタの開催：1回 森林フェスタ来場者数：1,500人 三重の森づくりネットワーク会員数：75団体				
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「森林フェスタ」の開催</li> <li>・「みえの森づくりポスターコンクール」の開催</li> <li>・「三重の森づくりネットワーク」会員の活動及び交流を通じた「三重の森づくり運動」の展開</li> </ul>				

【中間進捗】

中間進捗状況
1. 令和7年10月12日、尾鷲市の三重県立熊野古道センターにおいて「森林フェスタ2025尾鷲」を開催し、約800名の県民の皆さんにご来場いただきました。 2. 「みえの森づくりポスターコンクール」を開催し、小中高生あわせて257名からご応募いただきました。 3. 令和7年6月、伊賀市の「里山かがく学院」において「三重の森づくりネットワーク交流会」を開催し、森づくりに関するノウハウの向上と会員同士の交流を促進しました。 4. 三重の森づくりネットワーク会員の拡大を図り、会員数は75団体となりました。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)	* 実績報告後に記入	
森林フェスタの開催(回)	* 実績報告後に記入	
森林フェスタ来場者数(人)	* 実績報告後に記入	
三重の森づくりネットワーク参加団体数(団体)	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑦

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		野生生物保護事業				
細事業名		生物多様性推進事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		5. 地域の身近な水や緑の環境づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	18,558,000	3,794,000			
	決算額(円)	14,539,193				
事業の目的		森林の多面的機能の一つである生物多様性の保全に向けて、野生生物の生息状況調査やデータベースの整備、生物多様性の普及啓発などに取り組むとともに、活動団体等が実施する自然環境保全活動を支援します。				
事業の目標		野生生物の生息状況把握及び自然環境保全活動の促進 野生生物の生息状況調査 275地点 自然環境保全活動の支援 5活動 生物多様性に関する観察会や講話等 4件				
事業概要		県民の皆さんや事業者の生物多様性に関する正しい理解を促進するため、生物多様性に関する普及啓発を行うとともに、生物多様性の重要な指標の一つである希少種の生息状況を明らかにするための情報収集、調査を行い、得られた成果を事業者等による生物多様性保全への配慮の促進に活用します。 また、自然環境保全団体や専門家と連携しながら、生物多様性の保全に向けた取組を推進します。 ・野生生物生息状況調査の実施 ・絶滅のおそれを評価するべき野生生物リスト内の種の調査 ・合同調査や専門家の派遣などによる、自然環境保全活動の支援 ・生物多様性に関する観察会や講話等の実施				

【中間進捗】

中間進捗状況
自然環境保全活動について、5つの活動に対して支援を行いました。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)	* 実績報告後に記入	
野生生物生息状況調査	* 実績報告後に記入	
自然環境保全活動の支援	* 実績報告後に記入	
生物多様性に関する観察会や講話等	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実績報告後に記入	
効率性	* 実績報告後に記入	
公益性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑧

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		自然公園利用促進事業				
細事業名		森林とふれあう自然公園環境整備事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		5. 地域の身近な水や緑の環境づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額(円)	32,000,000	30,400,000			
	決算額(円)	29,883,969				
事業の目的		地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。				
事業の目標		地域との連携による自然公園施設等を活用した森林教育の活動 (目的達成のための目標：森林教育イベントやガイドツアー等の開催12回) ＜三重の森林づくり基本計画2025における目標値＞ 森林文化・自然体験施設等の利用者数：1,401千人（令和16年度）				
事業概要		地域のNPOや団体、市町等と連携し自然公園の園地や自然歩道等を活用して実施する森林教育のイベントやガイドツアー等を実施します。 また、そのフィールドとなる自然公園の園地や自然歩道等において、施設の点検や安全確認を行い、安全・安心に利用できるよう、サイン標識や看板の設置、歩道整備や転落防止柵等の改修などに取り組みます。				

【中間進捗】

中間進捗状況
1. 自然公園の園地や東海・近畿自然歩道、大杉谷登山歩道などで森林教育イベントや自然観察ツアーを実施（21回） ※うち3回は、参加者による歩道整備や環境保全活動を実施 ※令和8年1～3月の間にイベント、ツアーを7回実施予定 2. 生活環境保全林を森林教育のフィールドとして活用するため、鋼製歩道橋の補修を実施中 ※整備箇所：魚飛生活環境保全林（紀北町）

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）	* 実績報告後に記入	
森林教育イベント・自然観察ツアー開催回数（回）	* 実績報告後に記入	
上記のうち参加者による整備等を行ったイベント・ツアー（回）	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実績報告後に記入	
効率性	* 実績報告後に記入	
公益性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑨ーアーa

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】						
事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業				
細事業名		流域防災機能強化対策事業				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	144,561,000	78,155,000			
	決算額（円）	138,035,935				
事業の目的		流域の防災機能を強化するため、面的な森林整備に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。				
事業の目標		山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれのある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。 事業実施市町：11市町 371.95ha ＜三重の森林づくり基本計画2025における目標値＞ 公益的機能増進森林整備面積（累計）：22,900ha（令和16年度） ※公的主体等によって進める間伐等森林整備の面積であり、本事業以外の実施面積も含まれます。				
事業概要		人家等の保全対象から概ね2km以内の溪流沿いの森林であって、適正な管理がされておらず、流木や土砂の流出により下流に被害を及ぼす恐れがあり、以下のいずれかに該当する森林を対象に、市町が、森林所有者と当該森林の管理及び施業方法等について定めた協定を締結したうえで、間伐等の森林整備を実施します。 （1）間伐等（災害緩衝林一体型） みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化することができる森林 （2）間伐等（環境林・特定水源地域） 県ゾーニングが環境林、または三重県水源地域の保全に関する条例に規定する特定水源地域として指定されている森林				

【中間進捗】	
中間進捗状況	
	9市町において、177.85ha（予定）の森林整備を進めています。

【実施結果】			
区 分		実 績	備 考
事業費（千円）		* 実績報告後に記入	
事業量	実施市町数	* 実績報告後に記入	
	整備面積 (ha)	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】		
評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	*実績報告後に記入	
効率性	*実績報告後に記入	
公益性	*実績報告後に記入	
情報発信度	*実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】	
評価・提言	*実績報告後に記入



令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑨ーアーb

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和2年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業				
細事業名		災害からライフラインを守る事前伐採事業				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		2. 暮らしに身近な森林づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	62,562,000	72,505,000			
	決算額（円）	56,640,806				
事業の目的		台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組むことで、県民の安全・安心な生活環境を守る森林づくりを推進します。				
事業の目標		事業実施市町：14市町				
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容 市町・ライフライン事業者・県が連携して、倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組みます。</li> <li>・負担割合 ライフライン事業者1/2、県1/2</li> <li>・事業の対象               <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）伐採調査：事業の対象となる箇所において、伐採施工前に実施する、施工範囲などの現地調査や伐採対象木の所有者の確定及び承諾交渉。また、図面及び設計根拠資料の作成等。</li> <li>（2）伐採施工：事業の対象となる箇所における、配電線などのライフラインを寸断する恐れのある樹木や枝葉の伐採や集積等。</li> </ul> </li> </ul>				

【中間進捗】

中間進捗状況
14市町において、4,282本（予定）の事前伐採を進めています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）		* 実績報告後に記入	
事業量	実施市町数	* 実績報告後に記入	
	伐採本数	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑨ーアーc

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	令和元年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業				
細事業名		県民参加の植樹祭事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		4. 森と人をつなぐ学びの場づくり				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	500,000	500,000			
	決算額（円）	500,000				
事業の目的		県民が森林や木に親しみ、森づくり活動に関心や理解を深めてもらうこと及び令和13年度の招致を表明している全国植樹祭に向けた気運醸成を目的に、植樹活動を行います。				
事業の目標		市町と県が連携して、県民参加の植樹祭を開催します。 事業実施市町：1市町				
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主体 市町</li> <li>・事業内容 県民が植樹等の森づくり活動を体験できる「県民参加の植樹祭」を、市町が県と連携して開催します。また、必要に応じて、森林や森づくり活動への理解を深めるための行事をあわせて開催できるものとします。</li> <li>・交付対象経費 市町が上記の事業を行うのに要する経費（苗木の購入費、植樹指導にかかる委託料、広報費など）</li> <li>・交付率 交付対象経費の10／10以内</li> </ul>				

【中間進捗】

中間進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県民参加の植樹祭」の開催 開催日時：令和7年10月22日（水） 開催場所：尾鷲市九鬼町地内 ※県主催の「森林フェスタ2025尾鷲」との相乗効果を図るため、同日開催を予定していたが、荒天により中止 後日、尾鷲市立輪内中学校の生徒が、カマツカ、リョウブ、コバノガマズミ、ヤブツバキを植樹</li> </ul>

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）	* 実績報告後に記入	
実施市町数	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有効性	* 実績報告後に記入	
効率性	* 実績報告後に記入	
公益性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑨ーイ

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業				
細事業名		—				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり、2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		5つの対策全て				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	341,000,000	332,498,000			
	決算額（円）	328,892,511				
事業の目的		地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用し、森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくり等の施策を展開します。				
事業の目標		—				
事業概要		1 市町あたり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」を交付します。（森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町には、要望に基づき、5年間で900万円を上限に加算することができます。） 市町は、この交付金を財源に、県民税を活用した事業を行ううえでの3原則を満たし、森林環境譲与税と使途を棲み分けたうえで、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりなどに取り組みます。				

【中間進捗】

中間進捗状況
29市町107事業（13事業が完了、91事業が実施中、3事業が未着手）※2市町において基金積立を実施 対策区分1：2市町 2事業 対策区分2：20市町 33事業 対策区分3：19市町 34事業 対策区分4：14市町 21事業 対策区分5：12市町 17事業

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入

令和7年度みえ森と緑の県民税基金事業  
事業別評価シート⑩

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課					
作成年月日	当初	令和	7	年	8	月 1 日
	中間	令和	7	年	12	月 31 日
	実績	令和		年		月 日

【事業概要】

事業実施年度		令和7年度	区分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税制度運営事業				
細事業名		—				
基本方針区分		—				
対策区分		—				
予算額等	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	予算額（円）	15,284,000	14,520,000			
	決算額（円）	12,687,194				
事業の目的		みえ森と緑の県民税制度の円滑な運営や、みえ森と緑の県民税の認知度向上				
事業の目標		みえ森と緑の県民税評価委員会の円滑な運営 令和7年度評価委員会開催回数：3回以上				
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みえ森と緑の県民税評価委員会の開催</li> <li>・さまざまな媒体（ラジオ、テレビ、インターネットなど）を活用した情報発信</li> </ul>				

【中間進捗】

中間進捗状況
<p>「みえ森と緑の県民税評価委員会」を2回開催し、評価委員会から令和6年度基金事業の実施後の評価・提言についての答申をいただきました。いただいた評価・提言は、市町担当者会議で周知を行ったほか、さらにきめ細かくに対応するため、県内全29市町と個別協議の場を設け、市町ごとの課題について意見交換を行いました。</p> <p>県民税の認知度向上に向けては、「令和6年度事業成果報告書」を作成し広く県内に配布するとともに、「令和6年度事業成果発表会」を開催し、県民税を活用した事業の成果を県民の皆さんや市町担当者等に共有しました。</p> <p>また、ラジオ、テレビ、新聞、位置情報やスマホアプリ利用データをもとに広告配信する「ジオフィールド」「APP-LOG」の活用、各種イベントにおけるブース出展、県施設でのパネル展示など、さまざまな媒体を活用した普及啓発に取り組みしました。</p>

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）	* 実績報告後に記入	
事業量（回）	* 実績報告後に記入	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体のコメント	評価委員会の評価
有 効 性	* 実績報告後に記入	
効 率 性	* 実績報告後に記入	
公 益 性	* 実績報告後に記入	
情報発信度	* 実績報告後に記入	

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	* 実績報告後に記入